

おいしい栽培

鈴木農場・伊東種苗店 店主 **鈴木 光一**



私は、福島県郡山市で現在まで30年間、野菜の直売所を運営してきました。また、縁あって平成8年より種苗店も兼営することになり直売所とタネ屋の両面から農業を考えるようになりました。日本農業が進む方向性の一つは、本当にお客さまが欲しいと思える「価値のある商品づくり」をしていくことだと感じています。そのためにも、野菜の品種選びをしっかりと行いましょう。



↑パステルグリーンの莢色がきれいな「ヘルシエ」。やわらかで肉厚、食味のよい品種です。

今回は紹介するオクラの「ヘルシエ」はオクラの中でも特に粘りが強く、通常のオクラの3倍の粘りをもっています。また、莢色も緑ではなく白に近いパステルグリーンの丸莢でほかのオクラとの違いを出せる品種になっています。食べれば、噛めば噛むほどねばねばが強くなるとてもインパクトの強いオクラです。

直売所で人気の野菜のキーワードがあります。「カラフル」「ギザギザ」「ねばねば」です。「カラフル」は、トマト・パプリカなどに代表される彩り鮮やかな野菜。「ギザギザ」はフリルレタスやゴーヤなど形がギザギザの野菜。「ねばねば」は、ヤマイモ・オクラなど食べてねばねばする野菜です。特にオクラは、鮮度、健康志向の面からも直売所の夏の人気商品になっています。

**ねばねばがキーワード
直売所で人気の「ヘルシエ」**

「ヘルシエ」適期表

栽培型	3月	4	5	6	7	8	9	10
トンネル		●	—	■	■	■	■	■
露地					●	—	■	■

● 播種 — 生育 ■ 収穫



↑「ヘルシエ」は水溶性ペクチン(食物繊維)の含有量が多く、段違いのねばとろ感。

期待のポイント

- 1 粘りが格段に強いこと
- 2 15cmくらいまでおいてもやわらかなこと
- 3 莢は丸莢で、色がパステルグリーンできれいなこと
- 4 肉厚でくせがなくおいしいこと

栽培のポイント

土づくり

水はけのよい畑を好むので、排水性のよい土づくりをします。元肥のチッソ量は少なくてもよいので、10a当たりチッソ成分で3kgと極力抑えます。前作が多肥の野菜作付けであれば無肥料スタートでもかまいません。通常オクラの施肥の8割減のイメージでください。

播種・育苗

草勢が強いので移植栽培がおすすめです。72穴ペーパーポットかセルトレイへ2粒まきし、株間10~15cmで移植します。

草勢判断

開花位置を見て生育判断をします。成長点から5葉以上離れていれば草勢が強いと判断します。リン酸・カリ主体の葉面散布で着莢を促してください。生育が順調であれば10日から2週間間隔で追肥をします。



→ 開花位置が成長点から5葉以上離れていれば草勢が強いと判断します。

管理

花がらが落ちにくい品種なので、莢色の黒ずみを防ぐためにも、収穫作業時に除去してください。



残った花がらは収穫時に除去

収穫・パッケージ

莢が10cmほどの長さになったら収穫をします。15cmくらいまではやわらかくおいしく食べることができます。

パッケージでは「ヘルシエ」単体でのパッケージはもちろんですが、同じ丸莢のオクラで「エメラルド」とセットでの販売も直売所ではとても目を引きます。



↑「ヘルシエ」(左)と「エメラルド」



↑甘さ際立つ「ホイップコーン」(左)と食味のよい極良質イエロー種「おひさまコーン88」(右)。

夏の売れ筋

「おひさまコーン88」と「ホイップコーン」

わが家の直売所で夏一番の売れ筋は、スイートコーンです。いくつかの品種を作っていますが、その品種のラインアップに入っているのが「おひさまコーン88」「ホイップコーン」です。

「おひさまコーン88」の気に入っている点は、**①食味のよさ**、**②ポリウム感**、**③苞葉のかぶりがいよ**いことです。特にスズメの食害で悩まされてきたわが家では、苞葉のかぶりのよいところは、特に気に入っています。

「ホイップコーン」は、**①人気の高い白粒種で光沢があり、きれいなこと**、**②糖度が高く食味が特によいこと**、**③倒伏に強いこと**です。

「ホイップコーン」適期表

栽培型		3月	4	5	6	7	8	9	10	11
冷涼地	マルチ			●	●	●	■			
	トンネル	●	●	●	●	●	■			
中間地	マルチ		●	●	●	●	■			
	抑制					●	●	●	■	
暖地	トンネル	●	●	●	●	●	■			
	マルチ		●	●	●	●	■			
	抑制					●	●	●	■	

● 播種 --- 育苗 — 生育 □ トンネル ■ 収穫

「おひさまコーン88」適期表

栽培型		3月	4	5	6	7	8	9	10	11
冷涼地	マルチ			●	●	●	■			
	トンネル	●	●	●	●	●	■			
中間地	マルチ		●	●	●	●	■			
	抑制					●	●	●	■	
暖地	トンネル	●	●	●	●	●	■			
	マルチ		●	●	●	●	■			
	抑制					●	●	●	■	

● 播種 --- 育苗 — 生育 □ トンネル ■ 収穫

注意

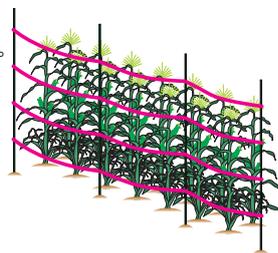
●キセニア対策

スイートコーンはイエロー種やパイカラー種の花粉がホワイト種にかかるとホワイト種に黄色の粒が入ります。できればホワイト種は、隔離して栽培する、もしくは、開花時期を2週間程度ずらして栽培します。近所でスイートコーンを栽培する農家がいたら事前に品種・栽培時期を確認することも必要です。

●鳥獣害対策

わが家でもかつてハクビシン・アナグマなどの獣害がありました。対応策としては、電気柵を使用しています。アポロのSP-2013を使っています。また、もっと簡易に対策ができないかと試験した中では、識別テープのピンクがかなりの効果がありました(図参照)。

カラス・スズメ対策では黒のテグスを使って対策しています。いずれも使うタイミングが重要で、被害を受ける前に対策しておくことが重要です。また、慣れると効果がなくなるので複数の対策を組み合わせていくことも大切です。



栽培のポイント

☑土づくり

排水のよい畑づくりが大切です。明渠を掘るなど、雨が降っても長時間水がたまらないようにします。排水の悪いところでは、「オキソパワー5」などの酸素供給剤をあらかじめ入れておくことも考えてください。根腐れの予防効果が期待されます。10a当たりチッソ成分で20kgぐらいを目安に元肥を入れます。おいしいスイートコーンを作るためにはN・P・Kだけでなく微量要素も大切だと思っています。ぜひ入れておいてください。



↑「オキソパワー5」は4~5カ月の長期間にわたり持続的に土壌へ酸素を供給、発根を促進し、肥料の吸収を高めます。

☑播種・定植

わが家では、ペーパーポットSM2300(5H)300穴を育苗で使います。約2週間の育苗で9230規格のカエルーチ(生分解マルチ)を張った畑へ定植をします。

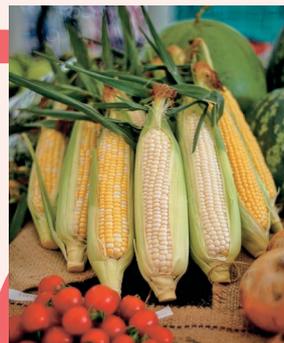
☑追肥・防除

追肥は、本葉7枚目と雄穂出穂期、2回に分けて施します。

防虫は、アブラムシ、アワノメイガ、オオタバコガをしっかりと防除します。梅雨の時期、日照不足のときなどは光合成促進のための葉面散布も追肥として行います。

☑収穫・出荷

収穫の目安は、絹糸抽出後25日が目安です。試しむきして粒の光沢、張りを確認します。販売時、わが家では、パッケージは中身を見ていただけるように一部Vカットしてパッケージをしています。ホワイト種とイエロー種のセット販売もおもしろいです。



↑スイートコーンはVカットで粒皮を見せる。(鈴木農場 Instagramより)